

収穫祭

11月7日(日)に神尾小学校で収穫祭が開催されました。神尾小学校では毎年11月の第1日曜日、金栗四三翁マラソン大会終了後に収穫祭を開催しています。学校の田(おひさま広場・どろんこ広場)で6月に田植えを行い、5年生がタニシ取りや肥料などの管理を行いました。10月に稲刈り、そして11月に収穫祭として餅つきを行います。

この日は全校児童66人が、保護者やコスモス学級のみなさん、お米の先生(古閑修一さん)とともに、石の臼と木の杵を使用して昔ながらの餅つきを行いました。

上手についた後は、甘くて美味しい餅を口いっぱいにはおぼっていました。



和水町観光PRポスターで観光客を誘客します

和水町では、豊かな自然や先人達が残した歴史・文化などの資源を最大限に生かした観光事業をまちづくりの柱とする「和水町観光交流振興計画(計画期間：平成22年度から平成29年度)」を本年3月に策定し、観光振興を進めています。

この計画中の「知名度の向上(情報発信とファンづくり)」の取り組みのひとつとして、町観光PR用のポスターを新たに2種類(体験と体にまつわる八つの神様)作成しました。

今後、観光PRポスターを広く掲示し、和水町の知名度を向上させるとともに、県内外から多くの観光客を誘客します。



新たに作成した観光PR用ポスター(左：体験、右：体にまつわる八つの神様)

熊本県老人クラブ連合会から感謝状

10月22日(金)、竹下春夫さん(板楠東)が県老人クラブ連合会から表彰を受けられました。竹下さんは長年にわたり「熊日ふれあい地域塾」の開催や会への寄付などを続けられ、老人クラブの発展と育成に寄与されたということで今回の表彰となりました。



「和水町でなごみ体験！ 伝統神楽とパワースポット・八つの神様巡りウォーキング」 モニターツアー開催される

11月10日(水)・11日(木)の二日間、和水町を楽しんでいただくモニターツアーが開催されました。このツアーは町の緊急雇用対策事業(観光ルート開発事業)として委託先の西日本新聞社が企画したもので、福岡市や久留米市などから13名の人々が参加されました。

初日にそば打ち体験やガイドの案内でトンカラリン・江田船山古墳を見学した後、下津原神社で神楽を觀賞しました。下津原では地元の人々に混じって富くじにも参加し、地元の農産物が当たるたびに歓声があがっていました。

二日目は体にまつわる八つの神様巡りウォーキングや花の香酒造見学のあと、三加和温泉に立ち寄りのんびりと入浴やお買い物を楽しまれ、田舎の景色の素晴らしさや地元の人々との触れ合いに十分満足された様子の二日間でした。

